

戸塚区民の民意反映する仕組み作りを！

立憲民主党市会議員 やまうら英太

「個性ある区づくり推進費」をご存知でしょうか。

区役所が独自に企画し、執行する事業にあてられる予算で、例年約1億円計上。今年度は区制80周年や青少年育成などに使われます。

第三者評価の導入

この「区づくり推進費」は、市民局の予算・決算として市会で審査されていますが、区民に身近な所で使われる事業だからこそ、より透明性を高め、民意が反映したものにいく必要があります。

私はこの「区づくり推進費」の配分方法を区民の意見が反映したものにいく必要があります。

しかし、現在、予算の使い方や事業について公表はされていますが、客観的な事業評価は行われていません。これでは受験生が自分の答案を自分で合否をつけるようなものであり、公平性に欠けると言わざるを得ません。

平成6年に創設された「推進費」は、まもなく四半世紀を迎えます。そろそろ本格的な見直しの議論が必要です。具体的には、「市民の代表者」である私たち市会議員のほか、地域の住民代表者の方々などに入って頂いた第三者評価の導入をすべきです。

磯子区では、事業評価委員会が設置され、「推進費」の使い方への意見や評価を取り込んでいます。私は戸塚区でも同様の取り組みをしたい。予算は市民からお預かりした貴重な税金から成り立っています。私は今後も透明性・公平性の確保に取り組みます。



横浜市議員

やまうら英太

《略歴》

◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大学卒業、グロービス経営大学院修了、㈱ニトリ◆横浜市認定保育園園長(保育士)◆衆議院議員秘書◆2015年横浜市議員初当選

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7
045-864-3112 <http://www.yeita.net/>

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

保に取組みます。